２００９年度呼吸器Ⅱ追試

1. 益田

　　小細胞肺癌について以下の設問に答えなさい。

　　(１)進展型の定義をのべよ。

(２)進展型の本邦における標準治療をのべよ。

【２】佐藤

　　次の問題のいずれか１つを選んで解答せよ。

(１)肺膿胸について診断、治療法について知るところをのべよ。

(２)胸線種について下記のキーワードを用いて説明せよ。

【キーワード：好発部位、合併疾患、治療法】

【３】矢那瀬

1. 胸水の存在の有無を知る上で画像診断上重要なことをのべよ。
2. 画像所見において腫瘍性病変の肺外病変と肺内病変の鑑別上重要なことについてのべよ。
3. 次の場所が触れる肺区域はどこか
	1. 右第１弓
	2. 右第２弓
	3. 左第１弓
	4. 下行大動脈中部
	5. 下行大動脈横隔膜部
	6. 横隔膜輪郭部

【４】三藤

　　(１)COPDの原因となる外因子のうち最も重要なのは(　　　　)である。

　　(２)COPDの診断基準：気管支拡張薬投与後のスパイロメトリーで

FEV₁/FCV＜(　　　　)

　　(３)COPDの急性増悪因子で最も多いのは(　　　　　)である。

　　(４)COPDにおいて、機能的残気量、残気量は(　　　　)する。

　　(５)成人喘息は気道の慢性炎症と気道狭窄と気道(　　　　)の亢進が特徴で気道狭窄は

　　　 自然にあるいは治療により(　　　　　)を呈する。

　　(６)喘息の発作は(　　　　　)に出現しやすい。

【５】三藤

　　(１)アスピリン喘息はアスピリン様効果をもつ(　　　　　)の内服、注射、坐薬、貼付

　　　 薬、点眼薬などの使用で誘発される。

　　(２)呼吸不全Ⅱ型はPaO2≦(　　　　)Torr、PaCO2＞(　　　　)Torr

　　(３)石綿肺になりやすい職種は(　　　　　)である。

　　(４)放射線肺臓炎Ⅰ型は放射線照射後、(　　　　　)後に現れることが多い。

　　(５)PaO2が６０Torrのとき、SaO2は(　　　　)％である。

　　(６)高度慢性呼吸不全例において、在宅酸素療法の適応は

　　　①安静時　PaO2≦(　　　　)Torr。

　　　②PaO2≦(　　　　)Torrで睡眠時または運動負荷時に呼吸困難をきたす。

　　　の２つである。

【６】畑石

　　肺塞栓症について症状(自覚症状、他覚症状)、診断と治療についてのべよ。

(テキストP54参考)

以上全６枚　そのうち佐藤は二枚です。